

ごあいさつ



株式会社メモリード
代表取締役会長
吉田 茂視

メモリード杯長崎県柔道場連盟少年柔道大会の開催にあたり、選手の皆さんの健闘を期待し、激励のご挨拶を申し上げます。

「柔道を通じて心身ともに健全な少年少女を育成する」という目的のもとに始まった本大会ですが、今回で29回を迎えることができました。遠くは対馬・五島など離島を含めた県内各地より約850名の選手が参加するという県内最大規模の大会へと成長しました。

今年度、本県柔道界ではとても喜ばしい出来事がありました。4月の全日本柔道選手権では、長崎日大高校出身で日本大学1年・山口貴也選手が、並み居る強豪の中、見事にベスト8進出。8月のインターハイでは、長崎日大高校3年・桂嵐斗選手が男子66kg級で見事優勝を致しました。

その他にも、小学・中学・高校各年代別の九州大会で数多くの優勝・入賞者があり、目覚ましい活躍が全国で評価を受けております。

今日出場する皆さんも、大きな目標に向かって日々練習を積んできたことと思います。是非、練習の成果を発揮し悔いのない試合をして頂きたいと思います。

そして同時に、ご父兄ならびに日頃指導していらっしゃる先生方、大会運営に尽力いただいている皆様への感謝の気持ちを大切にしてください。その気持ちがさらに皆さんの心と体を強くしてくれるものと思います。

弊社が17年間に亘り特別協賛をさせて頂いているこの大会が更に充実し、オリンピックや世界大会を目指す夢の実現の一助になればと願っています。

選手の皆さんの健闘を祈ります。

ごあいさつ



長崎県柔道場連盟
(九州少年柔道場連盟)
会長
本村龍太郎

2019年(平成31年)4月30日は現天皇のご退位となり、5月1日新天皇のご即位に伴って平成の元(年)号が消えて、新しい元号の時代が始まります。本日の大会は平成の元号を飾る最後の記念すべき大会になります。そして、翌年2020年には1964年(昭和39年)以来の「東京オリンピック大会」が開催されて、外国のアスリート達で賑わう年となります。

さて、4月には日本柔道界で最高峰の大会といわれる無差別級で競う「全日本柔道選手権大会」が開催されます。この大会には、各地区の予選会で強豪選手を破った勝利選手が出場可能となります。九州地区の出場枠は6名ですが、最強の実業団「旭化成チーム」の選手たちが登場するので、出場代表権を獲得するのは大変困難です

長崎県において、平成の時代になって全日本柔道選手権大会へ出場した選手は、下岸正典選手(長崎県警、県警と略)、近藤辰正選手(県警)、次いで平成11年に出場した中村善弘選手(県警)などでしたが、中村選手以降出場者が途絶えてしまいました。しかし、予選地区は異なるものの、平成25年、26年には永瀬貴則選手(筑波大)が関東地区代表選手として出場しました。とくに、平成26年は全日本柔道選手権大会の前チャンピオンだった高橋和彦選手を破り、堂々3位に入賞する素晴らしい快挙を達成しました。平成28年は藤原浩司選手(県警)が出場して活躍。平成29年は

池田賢生選手(日本中央競馬会)が、リオ・オリンピック大会のチャンピオン大野将平選手を大外刈り1本で勝利して3回戦進出。平成30年は山口貴也選手(長崎日大高)が高校生としては初めて九州地区予選を突破して、本大会では全日本学生100kg超級チャンピオン太田彪雅選手(東海大)を内股1本で勝利して4回戦へ進出し、見事に5位入賞を果たしました。

昭和61年より始まった「全日本女子柔道選手権大会」では、平成の時代になって平成20年に相原千郷選手(鶴南支援学校教員)が出場して活躍。その後は近畿地区より橋口ななみ選手(近大)や、四国地区より松尾千香選手(松山東雲大)が出場して活躍。平成28年は町純香選手(光仁会病院)が推薦出場の新井奈美選手を合せ技1本で勝利して3回戦へ進出しました。

このように近年は毎年のように長崎県関係の選手が「全日本柔道選手権大会」へ出場して、しかも勝ち進み、入賞を遂げるなど素晴らしい快挙が続いています。

本日の大会の上位入賞者は7月に行われる九州少年柔道大会(久留米アリーナ)へ、長崎県代表選手として出場しますが、大会関係者の尽力で昨年より九州大会優勝選手には「長崎県スポーツ賞表彰会」で表彰されることになりました。平成30年は池田実琴選手(小学6年・武徳館)、平成31年は深江礼華選手(小学4年、小佐々教室)および平井隆輝選手(小学3年、修喩館)が表彰の栄誉に輝きました。

本日の大会は近くにせまった九州少年柔道大会そして将来の全日本柔道選手権大会につながる大会です。選手の皆さんは日頃からの練習でたくわえた力量を力一杯発揮して下さい。期待します。

大会次第



1.開会式

		司会進行	村田勝
(1)開会宣言	長崎県柔道場連盟副会長	木下宣明	
(2)国歌「君が代」斉唱	第12回ベーデン音楽コンクール 声楽部門全国大会1位	富永早耶香	
(3)優勝旗返還 並びにレプリカ授与	前年度団体優勝 小学生の部 〃 中学生の部	福江武道館 五島鍛心会	
(4)名誉会長挨拶	(株)メモリード社長	吉田茂視	
(5)大会会長挨拶	長崎県柔道場連盟会長	本村龍太郎	
(6)来賓祝辞	諫早市長 長崎県議会議員	宮本明雄 近藤智昭	
(7)来賓紹介			
(8)試合上の注意	長崎市柔道協会	近藤辰正	
(9)表彰 功労者表彰		(修喩館)陣内眞津喜 (小佐々柔道教室)松田和仁 (心錬館)岩永正則	
全国少年柔道大会出場チームへ激励金の贈呈		諏訪ノ森柔道教室	
努力賞表彰	講武館	阿比留志伊磨	
(10)選手宣誓	北陽塾	山口心夏	

2.競技(個人戦トーナメント戦)

3.閉会式

(1)成績発表		司会進行	村田勝
(2)表彰			
(3)閉会宣言	長崎県柔道場連盟副会長	大庭義弘	



大会役員

名誉会長	吉田 茂祝 (株)メモリード会長)	
大会顧問	鹿垣 昶義 (長崎県柔道協会顧問) 壹岐 正 (NCC長崎文化放送代表取締役社長) 佐原 恭輔 (長崎県柔道協会理事長・長崎市柔道協会会長) 三好 徳明 (西彼柔道連絡協議会会長) 太田恵一郎 (長崎県柔道整復師会会長) 安部 伯之 (佐世保市柔道協会会長) 吉岡 強 (諫早市柔道協会会長) 土本武一郎 (島原半島柔道協会会長) 溝上 敏紀 (大村東彼柔道協会会長) 針尾 英明 (北松柔道協会会長) 尾関 孝人 (壱岐柔道協会会長) 田川 裕訓 (対馬柔道協会会長) 板本 功 (県柔道場協会顧問)	
大会相談役	松添 俊一 (県柔道場連盟相談役) 吉田 治正 (県柔道場連盟相談役) 荒木 征三 (県柔道場連盟相談役) 石川 良博 (県柔道場連盟相談役) 植木 浩 (県柔道場連盟相談役) 村上 隆司 (県柔道場連盟相談役) 山口 末男 (県柔道場連盟相談役) 蔭山 勇 (県柔道場連盟相談役)	
大会参与	阿野 朋弘 (県柔道場連盟参与) 佐々木純一 (県柔道場連盟参与)	西 正勝 (県柔道場連盟参与) 小倉鹿太郎 (県柔道場連盟参与)
大会会長	本村龍太郎 (県柔道場連盟会長)	
大会副会長	近藤 智昭 (県柔道場連盟副会長) 木下 宣明 (県柔道場連盟副会長)	平田 紀典 (県柔道場連盟副会長) 大庭 義弘 (県柔道場連盟副会長)
大会委員長	松永 正司 (県柔道場連盟理事長)	
大会副委員長	村田 勝 (県柔道場連盟副理事長) 陣内眞津喜 (県柔道場連盟副理事長)	俣野 正仁 (県柔道場連盟副理事長)

大会運営委員	桂 孝道	(県柔道場連盟常任理事)	飯星 洋	(県柔道場連盟常任理事)
	山崎 靖志	(県柔道場連盟常任理事)	前田 一郎	(県柔道場連盟常任理事)
	寺田修一郎	(県柔道場連盟常任理事)	山口 栄	(県柔道場連盟常任理事)
	小倉鹿太郎	(県柔道場連盟常任理事)	大串 智治	(県柔道場連盟監査)
	松尾 義光	(県柔道場連盟監査)	松添英一郎	(県柔道場連盟庶務)
	松本 修	(県柔道場連盟会計)		
救 護	河野 昌文	(医師)	今村 剛	(医師)
	松永 千子	(医師)		
大会委員	鹿摩 竹徳	(大音寺養正館柔道部)	伯川 満広	(島原柔友会)
	坂田 行雄	(養心会少年柔道部)	溝田 良英	(南有馬少年柔道部)
	松添英一郎	(諏訪ノ森柔道教室)	山崎 文憲	(吾妻少年柔道クラブ)
	大串 智治	(神ノ浦柔友会)	俣野 正仁	(大村柔道協会錬成会)
	飯星 洋	(琴海柔道クラブ)	溝口 明	(波佐見柔道教室)
	林田 明彦	(東長崎柔心館)	橋本 勝之	(北陽塾)
	桂 雄剛	(修喩館)	本村 春記	(森山町柔道教室)
	本村龍一郎	(長与尚武会)	中村 英昭	(相浦武道会柔道部)
	宮村 勝	(光仁会少年柔道クラブ)	山崎 靖志	(佐世保柔道協会少年部)
	松本 修	(時津柔道協会)	山崎 貞喜	(早岐青少年柔道育成会)
	西 良典	(和心塾)	大庭 義弘	(講志館)
	大田 隆一	(大山道場)	松田 和仁	(小佐々柔道教室)
	松尾 義光	(多良見少年柔道教室)	川崎 三郎	(吉井少年柔道部)
	吉岡 強	(吉岡道場)	中村 知己	(世知原柔道クラブ)
	松尾 道行	(有喜少年柔道クラブ)	山本 大輔	(平戸少年柔道クラブ)
	村上 隆司	(諫早少年柔道クラブ)	針尾 英明	(田平少年柔道クラブ)
	鶴田 誠	(小長井町青少年柔道部)	中野日出男	(江迎少年柔道教室)
	木下 宣明	(轟和柔会)	平田 紀典	(福江武道館)
	岩永 正則	(心錬館)	深松 繁正	(大浜少年柔道部)
	木村 剛	(剛柔心)	山下 実	(五島鍛心会)
	前田 伸一	(国見町少年柔道クラブ)	石原 与一	(富江スポーツ振興会柔道部)
	大石 講二	(愛野町少年柔道クラブ)	富田伊津子	(奈留少年柔道クラブ)
	北川 雅敏	(千々石柔盛会)	小倉鹿太郎	(岐宿町柔道部)
	下田 文男	(島原少年柔道クラブ)	平山 亨	(平山道場)
	田川 智康	(講武館)	森 傳	(五島柔道クラブ)
	佐伯 義昭	(対馬南警察署 健心会)	住屋 良儀	(風の浜道場)



メモリード杯 第29回 長崎県柔道場連盟少年柔道大会 実施要項

九州少年柔道大会選手選考並びにNマーク選考会

1. 目的 柔道を通じて、心身ともに健全で将来を担う少年を育成するとともに、本連盟所属団体相互の親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 長崎県柔道場連盟
3. 共催 NCC長崎文化放送
4. 特別協賛 株式会社 メモリード
5. 協賛 医療法人 光仁会 光仁会病院 / 上五島漁業協同組合
6. 主管 諫早市柔道協会 / 島原半島柔道協会 / 大村東彼柔道協会
7. 後援 長崎県柔道協会 / 長崎県教育委員会 / 諫早市教育委員会 / 長崎新聞社
長崎県柔道整復師会
8. 日時 平成31年3月24日(日)
(1) 開場・受付 8:00 ~ (2) 審判・監督会議 8:45 ~
(3) 開会式 9:00 ~ (4) 試合開始 9:30 ~
9. 会場 諫早市小野体育館
10. 競技種目(個人戦)及び参加基準
 - (1) 幼児の部 (男女混合トーナメント)
 - (2) 小学生の部
 - ① 1年生 (男女混合トーナメント)
 - ② 2年生 (男女混合体重別トーナメント)
 - ・軽量級 35kg未満 重量級 35kg以上
 - ③ 3年生～6年生男子の部 (各学年体重別トーナメント)
 - ・3年生 軽量級 40kg未満 重量級 40kg以上
 - ・4年生 軽量級 45kg未満 重量級 45kg以上
 - ・5年生 軽量級 50kg未満 重量級 50kg以上
 - ・6年生 軽量級 55kg未満 重量級 55kg以上
 - ④ 3年生～6年生女子の部 (各学年体重別トーナメント)
 - ・3年生 軽量級 35kg未満 重量級 35kg以上
 - ・4年生 軽量級 40kg未満 重量級 40kg以上
 - ・5年生 軽量級 45kg未満 重量級 45kg以上
 - ・6年生 軽量級 50kg未満 重量級 50kg以上
 - (3) 中学生男子の部 (各学年体重別トーナメント)
 - ① 1年生 ・軽量級 55kg未満 ・中量級 55～66kg未満 ・重量級 66kg以上
 - ② 2年生 ・軽量級 60kg未満 ・中量級 60～73kg未満 ・重量級 73kg以上
 - (4) 中学生女子の部 (体重別トーナメント)
 - ① 1年生～2年生 ・軽量級 52kg未満 ・重量級 52kg以上

11. 試合時間 (1) 幼児の部：2分間 / (2) 小学生の部：2分間 / (3) 中学生の部：3分間
12. 参加資格
- ・本連盟所属団体の選手であること。
 - ・本大会出場者は、必ずスポーツ障害保険に加入のこと。
 - ・体重別参加の場合の体重は正確に記入のこと。
 - ・教育的立場から指導者の皆様は正確な体重区分の中で参加申し込みして下さい。
13. 審判規定
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2017-2020)及び少年大会申し合わせ事項による。
 - (2) 判定の基準は、「僅差」とし必ず優劣を決す。(延長戦は行わない)
 - (3) 審判規定運用上の申し合わせ事項は別に定める。
14. 審判員 諫早市柔道協会/島原半島柔道協会/大村東彼柔道協会/長崎県道場連盟指導者をもって行う。
15. 組み合わせ 大会本部で厳正、公平に行う。前年度の上位選手はシードする。3位はクロスする。
16. 努力賞 各団体より2名(申し込み時に申請すること)
17. 表彰・上位大会への資格
- (1) 各種別とも3位まで表彰する。(3位は2名)
 - (2) 小学生各学年の上位入賞者は、九州少年柔道大会(7月6日(土)・7日(日))福岡県久留米市「久留米アリーナ」に出場する権利を取得する。また、出場選手の中からNマークの選考を行う。
 - (3) 男女の小学4年生・5年生、軽量級・重量級のベスト8に入賞した選手は、平成31年5月25日(土曜日)長崎県立総合体育館「武道場」で開催される、全国小学生学年別柔道大会県予選に出場することができる。大会の詳細については、該当する道場・選手へ後日ご案内致します。今年は、8月11日(日曜日)愛媛県松山市「愛媛県武道館」で開催
- ※本大会では、全国小学生学年別柔道大会県予選会は兼ねませんのでご了解下さい。
- (4) サクラマークの選考は、全国小学生学年別柔道大会県予選の上位選手の中より行う。
18. 事故取扱
- *本大会試合中に事故が発生した場合、大会本部は大会会場での応急手当のみを実施する。その他の処置・手当て・治療等は各団体の責任において処置すること。
 - *申し込みにあたり、各団体の責任者は、保護者の承諾書を了しておくこと。
19. 参加料 500円(個人登録が済まれてない方は登録費合わせて1000円…全柔連登録費とは別です)
- ★振込先 親和銀行 旭町支店 普通口座 1219951 長崎県柔道場連盟
十八銀行 本店 普通口座 1074283 長崎県柔道場連盟
20. 申込先 〒851-2106 長崎県西彼杵郡時津町左底郷368(去年の住所と違います)
長崎県柔道場連盟事務局 松本 修 宛 ☎/FAX(095)882-3278
- ◎申し込み締め切り 平成31年2月2日(土曜日) 必着**
21. その他 ①申し込みを受け付け後、確認の文書を3月10日頃までに郵送致します。なお、郵送されない場合は上記にお問い合わせ下さい。



本大会は、子供達の大会であり“安全指導”並びに“教育的立場”から事故のないよう配慮する為、次の事項を申し合わせる。

- 小学生は、両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施した場合、審判員合議の上「反則負け」とする。また、片膝を最初から畳に着いて背負投等を施した場合も、通常の審判規定では罰則はないが、本大会では「指導」を与える。(中学生は通常のルール)
- 上位大会の選手選考並びにNマークの選考を兼ねており、該当する階級の選手は体重計を準備しているので、事前に体重測定をして構わない。また、申込日より日数が経過して体重の増減があり、階級に相違のある選手は試合前に大会本部に必ず報告すること。
- 大会当日体重測定は行わないが、審判員が階級に相違があると思われた場合、体重測定を実施し試合出場の判断をする。
- 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、専門医の診察を受け出場許可を得ること。
- 試合中、頭部を強打し試合続行不可能な場合は勿論の事、審判員が危険と判断した時も、審判員合議の上、試合者を棄権させる。また、その後一連の試合の出場も認めない。
- 背中の“ゼッケン”のない選手や、柔道着の袖口を折り曲げて着用している選手の出場は認めない。但し、肩口での折り曲げは認める。
- 監督・コーチ、一般の声援でも、審判員を侮辱するような暴言があった場合は、審判員合議の上退場とする。また、声援の中でも「教育的配慮に欠ける」応援も厳重に注意する。
- 監督・コーチ、一般の声援でも、審判員を侮辱するような暴言があった場合は、審判員合議の上退場とする。また、声援の中でも「教育的配慮に欠ける」応援も厳重に注意する。
- 監督・コーチの服装も、審判員に準じ大会に相応しい服装・格好にて宜しく願いたい。
(Gパン、ジャージ等の軽装はお控え下さい)
- 大会当日は、道場ごとにリボンを配布し、リボンを着けていない一般の応援の方々は、試合会場への入場はできない。

審判割り振り及び試合順番



審判長 近藤 辰正

試合場	審判氏名	試合順	参加数
1	☆ 福田一浩 村本 努 徳永拓磨 山田伸治 小淵政智 島田 茂 松永正太郎	① 幼児の部	57
		② 小学5年生女子軽量級の部	28
		③ 小学5年生女子重量級の部	11
2	☆ 辻 和幸 三ツ石広明 源城暢之 前田一郎 橋本勝之 田中栄一郎 向井真琴	① 小学1年生男女の部	63
		② 小学6年生女子軽量級の部	17
		③ 小学6年生女子重量級の部	9
3	☆ 山本浩央 福島誠一郎 森林幸夫 當房弘考 中村純二 永瀬 諒	① 小学2年生男女軽量級の部	74
		② 中学女子重量級の部	24
4	☆ 佐々木純一 徳永丈司 高屋昌法 真鍋 努 木下広大 藤原浩司	① 小学3年生男子軽量級の部	59
		② 中学2年生男子軽量級の部	37
5	☆ 枝光 悟 前田勢吾 松倉弘明 小松健三 高橋由紀子 松永忠士 毎原正勝	① 小学4年生男子軽量級の部	48
		② 小学4年生男子重量級の部	15
		③ 中学1年生男子中量級の部	30
6	☆ 金谷 雄 稲田豊樹 深江智仁 寺田修一郎 芥川友洋 松本 篤	① 小学3年生男子重量級の部	15
		② 小学6年生男子軽量級の部	61
		③ 小学4年生女子重量級の部	7
		④ 中学2年生男子中量級の部	11
7	☆ 平井浩一郎 神尾和典 山口智英 今里 聡 堂本和宏 小柳雄一郎 岩永卓也	① 小学2年生男女重量級の部	16
		② 小学5年生男子軽量級の部	55
		③ 中学2年生男子重量級の部	21
8	☆ 中村善弘 堀 光 溝口 明 川口克広 阿部広宣 井村貴司 中村大悟	① 小学6年生男子重量級の部	25
		② 小学3年生女子軽量級の部	19
		③ 小学4年生女子軽量級の部	22
		④ 中学生女子軽量級の部	36
9	☆ 山口 栄 宮川孝之 造酒正一 飯星 洋 松本明洋 酒本 努	① 小学5年生男子重量級の部	25
		② 小学3年生女子重量級の部	6
		④ 中学1年男子軽量級の部	43
		⑤ 中学1年男子重量級の部	13
本部	桂 孝道 松永正司 俣野正仁 村田 勝 松添英一郎 陣内眞津喜 松本 修 矢嶋真行 松下大学 松永千登勢		
救護	河野昌文 (医師) 今村 剛 (医師) 松永千子 (医師)		

※ ☆印は主任

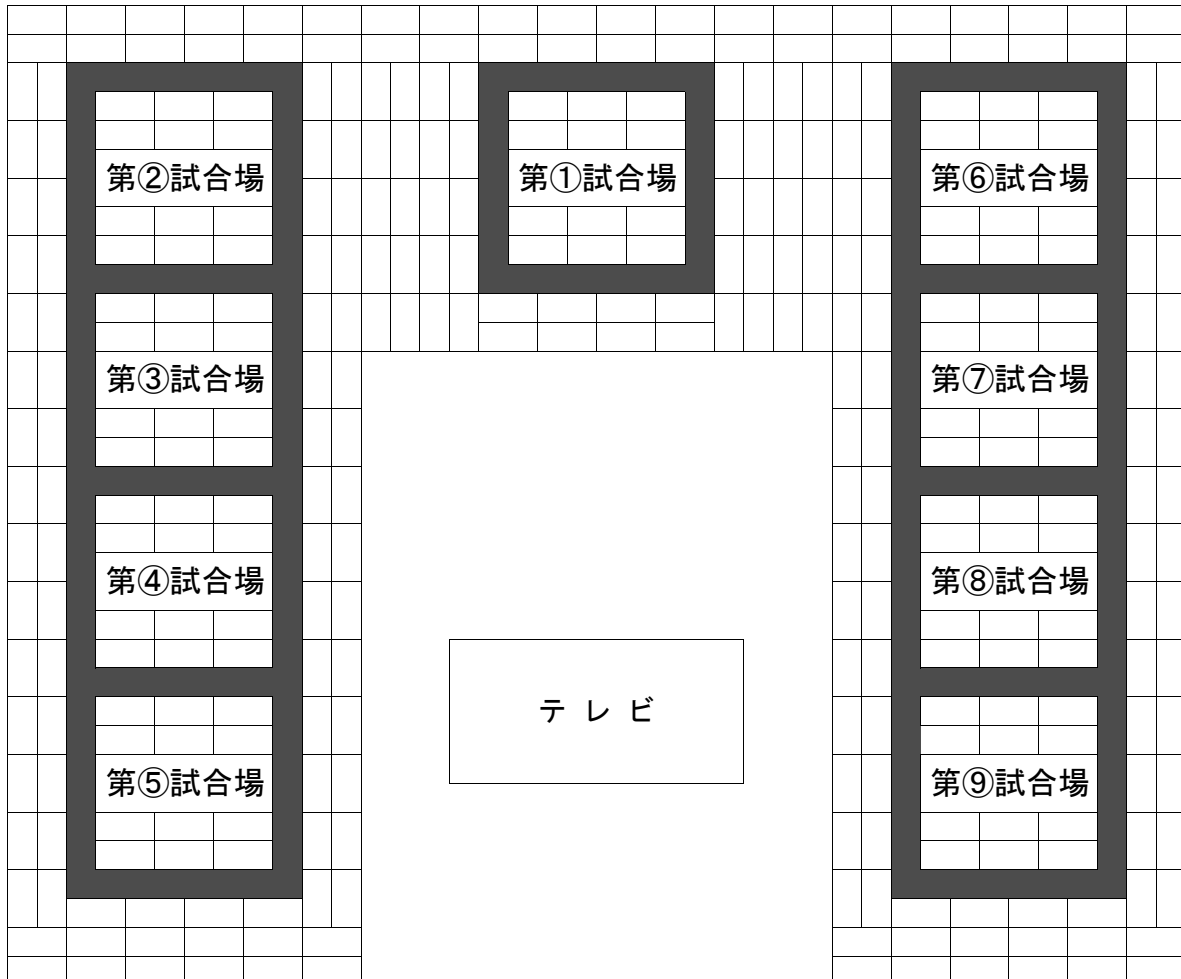
※ 各階級の決勝戦は、各階級終了後第一試合場にて全28試合をおこなう。

※ 試合進行上、試合場が変更になる場合があります。



試合会場案内

救護	審判	来賓・役員席	審判	本部
----	----	--------	----	----



柔道ルネッサンス

- 1) あいさつは大きな声で元気よく「こんにちは」からはじめよう！
- 2) ポイ捨ては自分の心も捨ててるよ。
ゴミはちゃんと捨てて帰ろうね。
- 3) 友達との出会いは一生の宝物だよ。
友達をいつまでも大切にしよう！
- 4) 困っている人を見たら勇気を出して手を差し伸べよう！
- 5) V I V A ! J U D O 世界に広げよう！

このプロジェクトは全柔連・講道館の活動です。